



安全・快適に インターネットを利用したい① ～インターネット利用の現状～

私たちは、仕事の話や友人と会話をするとき、電話やFAXを使ったり、はがきや手紙を書いたりします。緊急の知らせがある時には、電報を使うこともあります。調べ物は本で、買い物は売り場に行って買っていました。ニュースはラジオ、テレビ、新聞などから知り、テレビは私たちに楽しさや考えさせられることを提供しています。

しかし、今、相手がどこにいても、携帯電話やスマホ(スマートフォン)で会話をしたり、メールのやり取りをしたりするようになりました。この変化の背景には、インターネットの普及があります。インターネットが多くの人に使われ、いろいろな場所で利用できるようになったことで、私たちは、情報のやり取りを、どこでも、すぐにできるようになりました。

買い物、乗り物やイベントのチケットの予約、いろいろな物の代金の支払いまで、インターネットで簡単に、素早くできるようになりました。こういった面から考えると、インターネットはとても便利なものと言えます。



しかし、今起きている重大な事件は、インターネットでのやりとりを介していることがとても多いです。また、インターネットによるトラブル、例えば、「買った覚えのない物の代金を請求される」、「自分の知らないところに自分の写真が使われていた」、「悪口・非難・暴言」、「個人情報の流出」など、被害にあった人は少なくありません。

「便利に使いたいけれど、危険な事には関わりたくない」それが私たちの思いです。特に子どもたちが危険にさらされることを防ぎたいです。

さて、安全・快適にインターネットを利用するためには、どんなことに気をつけるとよいのでしょうか。2回のシリーズでお伝えしようと思います。今回は1回目です。

10代・20代はインターネットが主流

まず、私たちが、どんなものから情報を得ているかを紹介します。

2015(H27)年5月に、総務省情報通信政策研究所が出した「平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書」の中から、いくつかのデータを紹介します。

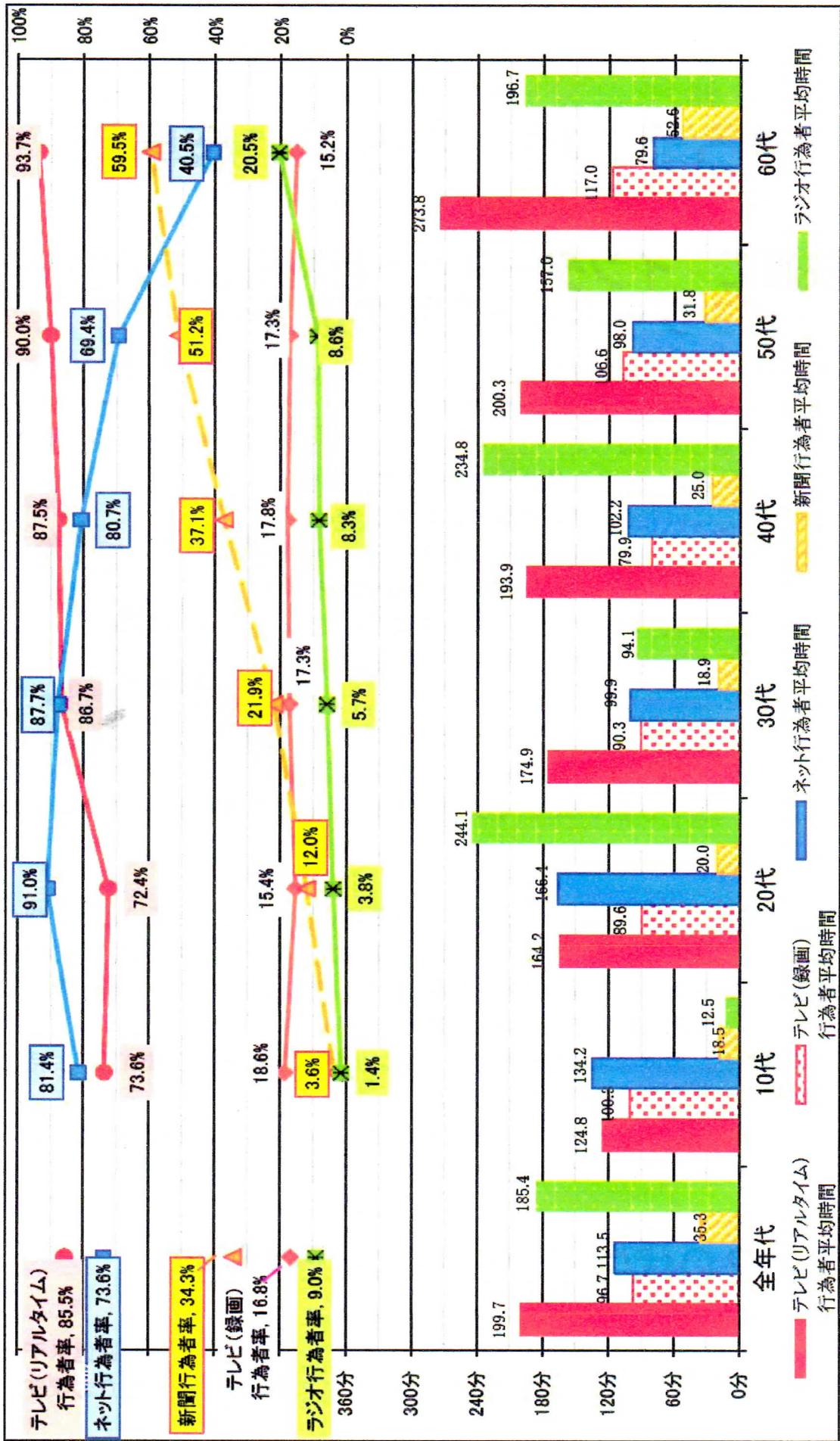


図1 平成26年[平日1日]主なメディアの行為者率・行為者平均時間(全年代・年代別)

「平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書」p.8 平成27年5月 総務省情報通信政策研究所
 ※行為者率：情報を得た人の割合 ※行為者平均時間：1日あたりの情報を得た時間

このデータの元になった調査は、2014(H26)年の11月に、13歳から69歳までの男女各1,500人を対象に、全国から結果が得られるように調べたものです。

図1は、年代別に、平日にどんなメディアを利用し、どれぐらいの時間、利用したかが示されています。

このグラフを見ると、テレビの視聴や新聞の閲読は、年代が上がるにつれて利用時間が長くなり、利用している人の割合も高くなっています。

逆に、インターネットの利用は、20代をピークに、年代が上がるにつれて、利用時間が短くなり、利用者の割合も低くなっています。

インターネットの利用時間が1日に平均2時間を超える年代は10代、20代。8割以上の人インターネットを使っている年代は10代～40代だとわかります。

1日のうち、テレビを見ている時間や、インターネットを利用している時間がこれほどあるということは、私たちの生活は、メディアがあって成り立っているという気さえします。



大人のインターネット利用増加

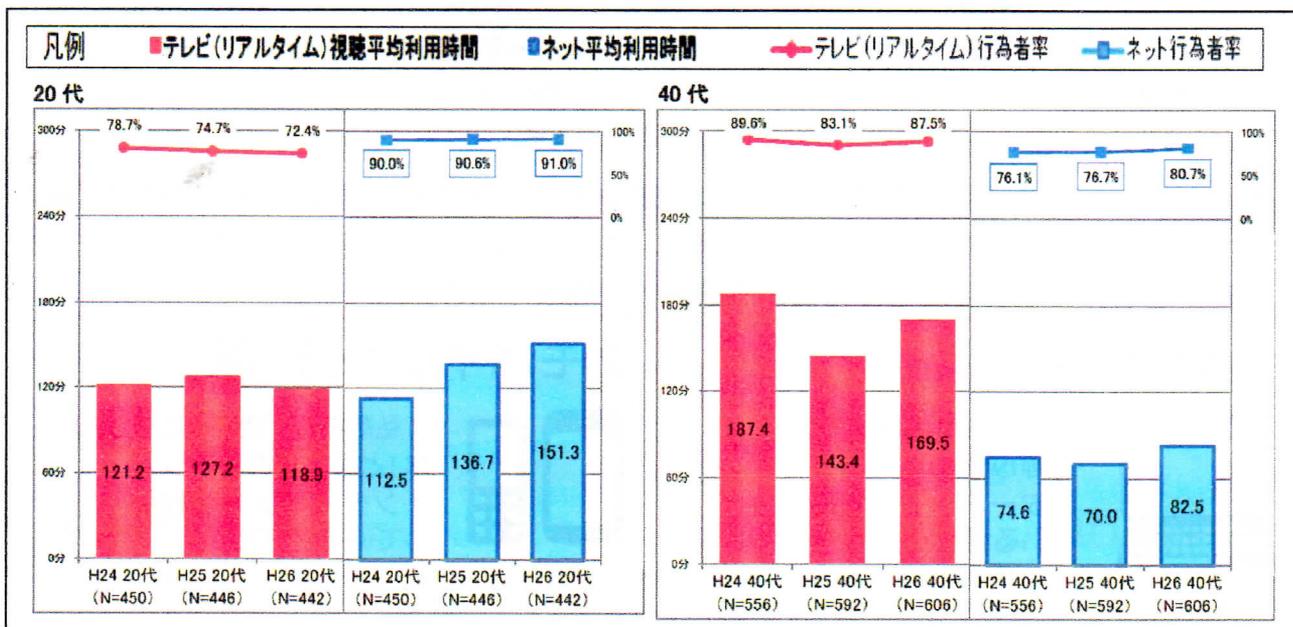


図2 経年[平日1日]テレビ(リアルタイム)視聴及びインターネット利用の平均時間・行為者率(年代別)

「平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書」p.10 平成27年5月 総務省情報通信政策研究所 ※ここでは20代と40代だけを載せました。図中の「N」は調査人数を表します。

今回の調査は3年目で、最初は2012(H24)から始まりました。H24→H25→H26と、インターネットの利用時間が増え続けている年代は、20代と50代です。そして、利用者の割合が増え続けているのが、図2で示した20代と40代です。

ですから、インターネットは、もはや「若者がつかうもの」ではなくなっているということです。こうして大人がインターネットを利用することによって、子ども同士の情報のやり取りの場ではなく、大人が、子どもを含めたどの世代にもつながる場となったわけです。

仕事での利用ならば能率が上がる利点が挙げられますが、様々な憂慮すべき事案も考えられ、それが実際に起きる世の中になりました(詳しくは次号「安全・快適に インターネットを利用したい②」で)。

どんな物を使ってインターネットをしているの？

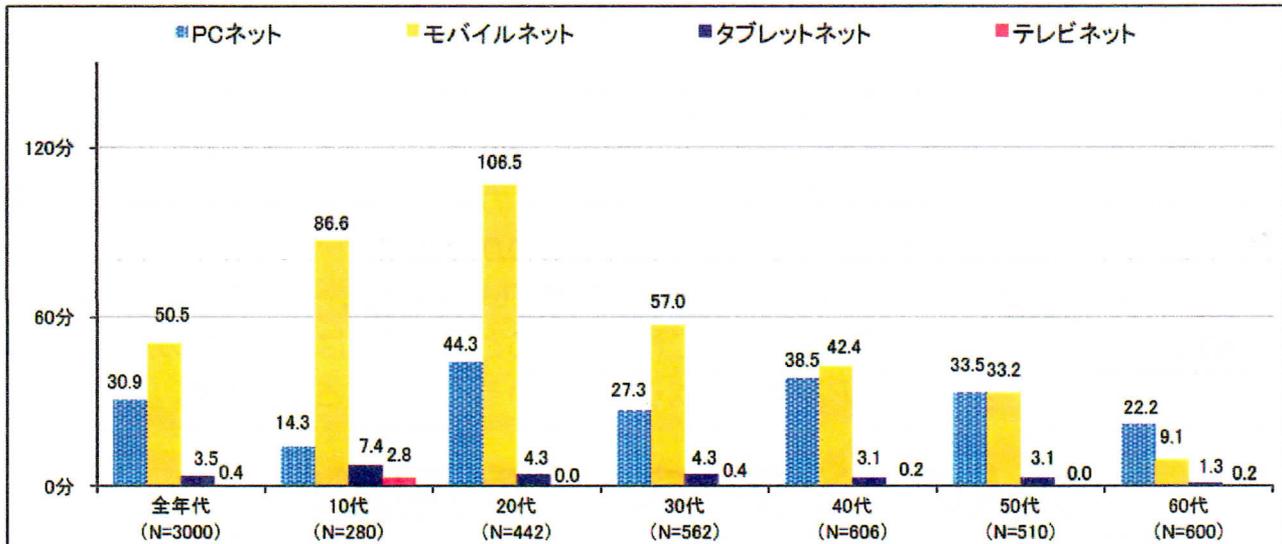


図3 平成26年[平日1日]主な機器によるインターネット平均利用時間(全年代・年代別)

「平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書」p.53 平成27年5月
総務省情報通信政策研究所 ※図中の「N」は調査人数を表します。

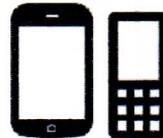
インターネットについて知ろうとしても、見聞きしたことのない言葉が出てきたり、刻々と世の中の様子が変わったりすることで、「ついていけない…」と感じることがよくあります。まず、図3のグラフに出てくる機器について、簡単に紹介します。

①PCネット



私たちが「パソコン」と呼ぶものを使ってインターネットを利用している場合です。

②モバイルネット



私たちが「携帯・スマホ」と呼ぶものを使ってインターネットを利用している場合です。

③タブレットネット



私たちが「タブレット」と呼ぶものを使ってインターネットを利用している場合です。

「スマホ」が大きくなった、持ち運びがしやすい「パソコン」と考えてよいと思います。



④テレビネット



テレビを使ってインターネットを利用できるようになりました。

見たい番組を、インターネットで見つけて、見たい時に見る時代がやってきました。



続きは、次号「安全・快適に インターネットを利用したい② ～インターネットに潜む危険～」で紹介します。

(文：北川敬市)